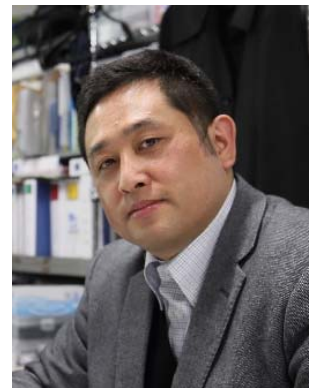


生体信号計測分析テクノロジーを知ってみよう！ ～脳波、眼電、筋電、心電～

2024年7月20日（土）16:00～17:30・オンライン（Zoom）
（質疑応答を含め1時間30分程度）

講師： 松下 光次郎 先生

2000年	東京理科大学工学部機械工学科 卒業
2002～2003年	スイス チューリッヒ大学 情報科学部人工知能研究室・プロジェクト研究員
2004年	英国 サセックス大学, SciTech, Informatics 修士課程卒業
2007年	東京大学大学院工学研究科精密機械工学専攻 博士課程後期修了, 博士（工学）
2007～2009年	東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻 日本学術振興会特別研究員 PD
2008～2009年	米国 マサチューセッツ工科大学 CSAL・ポスドク研究員
2009～2014年	大阪大学医学系研究科脳神経外科学講座 特任助教・特任講師
2014～現在	岐阜大学工学部機械工学科知能機械コース 助教・准教授
研究テーマ	生体信号<脳波・筋電・眼電>研究（生体信号分析によるロボット制御，3DVRを用いた心理生理状態分析），スマート生産（IoT，無人搬送車，協働ロボット），工学教育



主催：バイオメカニズム学会

参加費：会員無料（非会員も当面無料）

申し込み方法：バイオメカニズム学会 Web (<http://sobim.jp>)

トップページ Google フォームより <https://forms.gle/GrCeBxYlqezrH4ZM9>

申し込み締切：2024年7月13日（土）

問い合わせ：荻原直道（東京大学・バイオメカニズム学会企画担当理事） ogihara@bs.s.u-tokyo.ac.jp

内容：脳から発生する電気信号「脳波」，眼球から発生する電気信号「眼電」，筋肉から発生する電気信号「筋電」，心臓から発生する電気信号「心電」を計測して分析することで，ヒトの心理生理状態を把握できることが知られており，多くの研究者が利用しています．これらヒト身体から発する電気信号は「生体信号」と呼ばれ，実は電子回路的には全く同じ方法で計測することが可能です．しかし，各生体信号は振幅・周波数特徴が異なること，ヒト身体が複雑であることから，各生体信号を適切に計測するためには，かなりの「計測」「分析」ノウハウが必要となります（特に，脳波は難しい！眼電・筋電・心電は簡単…）．

本セミナーでは，これまでの講演者が福祉ロボット研究を通して培ってきた「生体信号センサ（電子回路），および，実験システム（感覚提示・計測・分析のための装置と Python プログラム）の製作方法」「効果的に生体信号を分析できるようになる計測法のポイント」を研究事例と共に紹介させていただきます．